参考資料

目　　次

資料１　ぶんぱく建設経緯について・・・

資料Ⅰ

ぶんぱく建設の経緯について

・文化財の適切な保存・公開、郷土の学習・研究の場として

・明石城に関する展示施設として

・市制 70 周年（1989 年）を迎える明石市の目玉事業として

→　1981 年策定された新長期総合計画（1981～1990）の「３教育文化の向上、第２章市民文化の高揚」の中で「郷土資料館」の建設が明記される。

（仮称）明石市立郷土資料館に係る、建設、展示計画　　1988(昭和 63)年 12 月　より一部抜粋

１．（仮称）明石市立郷土資料館建設についての考え方

「市民福祉・文化創造都市」明石市が目指す「文化」は、人間のいとなみ全体を包括した広義の「文化」を標ぼうしている。

（仮称）郷土資料館はその考えをもとに、「２１世紀の明石の文化創造」をになう核となり、文化創造の発進基地となる施設でなければならない。（中略）

当該施設は、緑と海の見える魅力ある都市空間に、自然と調和したうるおいとやすらぎのある施設として、（中略）市民が郷土明石の生いたちに想いをはせ、自主的な学習と創造活動を通して、郷土愛とゆたかな心を醸成する場として建設する。

２．施設の内容

（１）施設の機能

当施設では、人類が誕生以来営々といとなんできた人間の生活、文化、特に郷土明石の貴重な文化財に関する調査、研究を行う。（中略）本施設では、市民の文化創造活動の場として美術展、芸術祭等市民創作活動の発表の場として本格的なギャラリーを設け、市民文化の高揚を図る。当施設は市民の知的探求心、知的好奇心に応え、文化についての理解を深める機会としたい。

①　展示室

常設展示室では郷土明石にまつわる歴史、古来よりの民俗、及び伝統的地場産業を中心に展示する。

特別展示室では、全国或は県下のすぐれた文化財、歴史に関する各種のテーマについて展示する。尚、特別展開催期間外については必要に応じ一般展示場としても利用する。

②　収蔵庫

地階に一般収蔵庫、特別収蔵庫の各室を設け、展示資料、研究資料の保管に当る。

③　ロビー

来館者のくつろぎとふれあいの場、特別展、常設展の導入の場、芸術、文化財等に関する情報提供の場としてロビーを設ける。尚、ロビーの造りは吹き抜けとし、当施設の玄関として好印象を与える内容とする。

④　ギャラリー

著名作品等による特別企画展をはじめ市民の文化創作発表の場として活用する。

⑤　会議室

文化財講座、講演会をはじめ各種会議、或は児童・生徒のオリエンテーションの場として活用する。

⑥　レストラン

当施設の利用者並びに観光客の食事提供施設として、又、都市回遊路の中間休憩施設として本館とは別棟に建設し、休館日の利用も配慮したい。

３．展示構想について

（１）展示のねらい

郷土明石にまつわる歴史、古来よりの民俗を理解することにより明日の明石の姿を考察していく一機会とする。そうした観点から展示は、「明石における人々のくらしと自然環境」を主テーマとし、各時代における「人々の生活の変遷」、「風土の移り変わり」を展示資料により紹介する。又、とりわけ明石になじみ深い「明石原人」、「境界としての明石」、「窯業生産」、「明石城関係」については重点的に展示し、郷土明石のイメージアップにつなげるものとする。

（２）展示の方針

①　実物、レプリカ、模型等による展示資料をＡＶ機器、グラフィックパネル等で効果的に解説し、親しみやすく、実りある展示内容とする。

②　時代考証に忠実で、しかも展示構成に創意工夫を配した展示とする。

③　児童、生徒が学習の一環としても活用できる内容とする。

（３）展示テーマの設定

常設展示では「明石における人々のくらしと自然環境」をメインテーマとし、移り変わるきびしい自然環境のもとで、郷土明石の文化形成に寄与してきた人々の生き生きした活動の姿とともに明石という風土にはぐくまれて育ってきた農業、漁業、手工業（瓦づくり、酒づくり他）の変遷をまとめ、その案を基に展示設計業者に対し、具体的な展示企画提案を求めて決定した。

館のネーミングについて

（仮称）郷土資料館のネーミングの検討に係る会議　　1990（平成２）年２月７日
協議概要報告より　一部抜粋

１　これ迄の経緯について

市民文化の高揚、或は市民文化創造の拠点として「文化施設」建設構想が示され、企画部と検討を続ける中で文化施設の機能としては

（１）文化財の保護、保存を図り市民に公開展示が出来る施設
（２）郷土の歴史、生活の調査・研究を行い、公開展示、情報提供のできる施設
（３）市民の文化創造意識を喚起し、文化創造の活動の場として利用できる施設

以上の内容を具備する施設ということで決定した。

名称については、1981 年策定された新長期総合計画（1981～1990）の教育文化の向上、第２章市民文化の高揚の中で「郷土資料館」の建設がうたわれていたのを引継ぎ現在の（仮称）郷土資料館ということに至っている。

２　ネーミングについての検討経緯

「（仮称）郷土資料館」という名称については、議会等より文化施設にふさわしいネーミングを検討されたいとの意見・要望を受け、全国の博物館・資料館等の名称を参考に検討した。

施設目的としては「市民が郷土明石の生いたちに想いをはせ、自主的学習と創造活動を通して郷土愛とゆたかな心を醸成する場である」こと、次に、施設機能としては、１階部門は歴史、民俗、考古を中心として展示部門であること、２階部門はギャラリーを中心に市民の文化創造活動の場であること、以上を踏まえ、検討した名称（案）としては、次のとおりである。

歴史文化（会）館、郷土文化（会）館、文化博物館、郷土博物館、文化資料館

３　協議結果

（１）当施設の目的及び機能としては、歴史関係の展示と市民文化創造の場であるという観点から、施設名称としては、「歴史」「文化」という用語は欠かせないのではないか。
（２）「資料館」という用語はイメージ的に「倉庫」の意味合いが強いので、「館」又は「会館」の方がベターではないか。
（３）「郷土」という用語は、響きとしては大変狭隘的に聞こえるが、一面親しみやす

い面もあるのではないか。

（４）「博物館」という用語は、規模的にも大きく、内容的にも専門的であるというイメージが強いが、他市町に於いてもかなり使用されていること、又、展示監修会議の意向もそうであるということでもあるのでいいのではないか。

以上より、名称案は以下の通り。市長、助役、教育長に報告し、検討をあおぐことに決定した。

歴史文化（会）館、郷土文化（会）館、文化博物館、郷土博物館

類似名称を用いている地方公共団体の施設としては次の通りである。

民俗文化資料館（牛窓町）、文化芸術館（滋賀県）、郷土文化会館（高知県）、文化博物館（京都府）、郷土博物館（千葉市、足立区、福井市　他）

※1991（平成３）年度の組織改正で「文化博物館」となっている。

資料２

ぶんぱく座談会

これまで、ぶんぱくの運営に携わっておられた方々に、ぶんぱく開館当時のことや、ぶんぱくに対する想いなどをお聴きしました

2025.3.17(月)

★ぶんぱく建設当時のこと

- 専任の学芸員はいなくて、学芸資格を持っている教員が指導主事として配置されていた
- 地域の博物館というか、明石らしい博物館にしたいという意識が強かった
- 当時は忙しくて図録も作れなかった

- 当時、市では施策として文化に力を入れる方針を示しており、文化については、広義に生活全般と捉えていた
- 運営方針ははっきり決められておらず、名称は、館長の意向が強かった
- 特別展では、夏は日本画、冬は洋画の巡回展を実施していた

- 常設展示室を作るため、市内に散在していた史料の収集を行った
- 調査研究は、指導主事1名と埋蔵文化財担当2名の計3名を中心に行ってきた

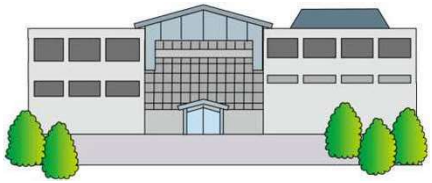
★指定管理者制度について

- 指定管理者制度を導入すれば、専任の学芸員が配置されると聞いて、調査・研究が充実すると期待していた
- 入館者数が事業の成果指標とされてしまうのは、ちょっと残念・・・

- 指定管理者の学芸員は、企画展にはタッチしないので、連携が充分でない
- 業務分割方式を採用しているが、調査・研究に注力するには、今の博物館ではやりにくい体制だと感じている

明石市立文化博物館

明石の歴史・文化の拠点



★郷土資料館としての役割

★市民のためのギャラリーホール

文化
- 狭義の文化：音楽・絵画・陶芸＝芸術
- 広義の文化：人々の生活そのもの

★ぶんぱくの課題について

収蔵庫	○収蔵品が整理しきれていない ○適切な史料収集と史料の整理 ○12万点の収蔵品の半分はデータベースに未登録 ○収蔵品を差配する学芸員が不在
常設展	○元々「自然環境とくらし」のテーマで作った ○開館当時のまま、大きなリニューアルはしていない ○展示手法が古い ○新しく発見された史料を活かせていない
ロビー	○ロビーの使い方が硬直し、有効活用されていない ○ケンサキミヨシは開館のために製作したもの ○船の設置に関する解説がないため意図が伝わらない
展示・機能等	○明石には様々な伝統産業があったが、放っておくと衰退してしまう ○歴史展示は人気がなく入館者が増えない ○平和資料室は所管が異なるため、ぶんぱくの展示との連携が充分ではない
運営体制	○業務分割方式の検証が必要 ○学芸員の身分が不安定では、勤務が続かない ○直営あるいは直営に近い形の指定管理制度についての検討が必要

★運営体制について

○調査・研究をしっかりやっていくには、職員体制を整えた上で、市の直営にするのが望ましい

○直営は、予算執行等で非効率な面もある

○直営に近い形で運営するには、財団等の体制を強化した上で、公募によらず指定管理者を選定することも検討してみてはどうか

★これからのぶんぱくへの想いなど

○博物館の役割は、調査・研究がメインとなる

○かつて「明石の野鳥」「明石の昆虫」「明石のため池」など、明石のことを後世に伝えていくものを刊行していた
※　今も、「明石の酒」「明石の瓦」などをテーマに調査研究を続けている

○ぶんぱくに行けば、明石のことがわかるということが大事だ

○明石らしいものを調査し、企画展で発表し図録を作るなど、地道に積み上げ残していくことが大事だ

○明石に詳しい学芸員の配置が大事だ

○常設展を刷新し、新しい史料を紹介していく
(例)
・「明石」の地名の由来の紹介
・明石原人の解説を子どもたちにわかりやすく
・紙のパネルをモニターにする
・タッチパネルを導入する
・デジタルミュージアム

これまで、明確なビジョンや方向性が示されていませんでした
このままの運営でいいのか、もっと明石に特化したものにするのか、市としての考えを固めていきたい

資料３

市民ワークショップ報告

日　時：2025（令和7）年2月２日（日）　10時～12 時
場　所：ウィズあかし　フリースペース（アスピア8階）
参加者：市民 19名
　　副市長、市民とつながる課　3名
　　文化・スポーツ室職員・文化博物館指定管理者職員　11名
　　ぶんぱくあり方検討会委員　5名（藤野会長、五月女委員、佐久間委員、染川委員、河合委員）

開催目的：
・参加者に「ぶんぱく」のこと、「博物館」の存在意義を知ってもらう。
・「ぶんぱくあり方検討会」での議論に求められている市民が考えるぶんぱくのキーワードを抽出する。

実施方法：
　市民が5つのグループに分かれ、ワークショップを開催した。各グループには、文化・スポーツ室又は指定管理者職員がファシリテーターとして参加した。

プログラム：
①自己紹介・アイスブレイク
　・ミライに残したいあかしの歴史や文化
②情報提供
　・「ぶんぱく」の歴史と今　　・博物館とは？
　・「ぶんぱくあり方検討会」とは？これまでの経緯とこれからの予定
③グループワーク
　・あかしの歴史や文化を残すために問題なこと、もっと大切にしたいこと
　・これまで～現在の博物館を改善したいこと
　・博物館が今後、どうなってほしいか
　・グループまとめ　〇〇な博物館になってほしい
④全体共有

グループまとめ
・市民に親しまれる博物館　　見て触って学べる
・歴史・郷土資料・自然史に特化した博物館　　美術と博物館機能を分離させる

・明石の歴史・文化がタダで楽しめる博物館
・身近な博物館
・東播のハブとなる博物館

・OPEN　&　TOGETHER　MUSEUM

・あかしのはば広く文化、自然、景観、人の営みを、市内外、子どもたちに届くように情報発信し、暮らしの一部として、のんびり、ゆっくりできる博物館

・若者が活躍できる　わたしも活躍できる　わたしが楽しめる　わたしが参加したくなる　カフェで過ごすことが出来る　博物館

（参考）グループワーク

（ご意見は原文をもとに、一部追記・修正し、市でまとめています）

1　ミライに残したい明石の歴史や文化

ため池
アカシゾウ
からくりおもちゃ
コウノトリなど野鳥
バイク、ジェットエンジン
まち並み
海ガメ
海が見える景色
海と山
海苔
街道筋のまち並み景観
瓦
漁業　魚文化
魚の棚
魚の棚　大漁旗
魚住の海岸
源氏物語
古墳
工芸品
子どもを中心にした社会
子午線
シゴセンジャー
寺・神社
時のまち
酒造
城瓦
中崎公会堂
天文科学館
日本書紀　赤石
百人一首
布団太鼓
文化博物館
万博の歴史
妙見社
明石と淡路の船の通行
明石の祭り
明石の食文化
明石海峡
明石海峡大橋
明石型生船
明石公園の生き物　鳥・虫
明石小学校
明石焼
明石城

2　残すために問題なこと、もっと大切にしたいこと

文化財の情報等の説明看板、表示がない
常設展は一度見たら来ない
ぶんぱくのロビーには布団太鼓が常にあってイベントに使用できない
カフェスペースが欲しい
キャッシュレス対応希望
お土産を買えるショップがあれば
ぶんぱくの資料の調査・研究を行う人が非正規　安定した研究環境を
本物に触れる経験ができるように
子どもが興味を持つような博物館に
広報、情報発信が不足　シリーズもので、祭りや瓦など地域情報を発信
子どもに来てもらえれば、未来につながる

3　これまで～現在の博物館を改善したいこと

文化財の案内板表示など看板が少ない
ぶんぱくの常設展示に農業や近現代の情報が少ない
現在の明石を展示の対象に　オートバイ　ライオンの歯ブラシなど
県立の博物館とのコラボ・連携
博物館の旗振り役の育成を
若い世代の育成が必要
子どもを連れてきたくなるような博物館に
歴史博物館としての機能を中心に　市直営で
学校との連携
市のエリアごとに深堀りした展示を期間を設けて行えばどうか
収蔵庫の保管方法・環境などを整える

４　博物館がどうなってほしいか

「博物館」概念の拡大
新しい文化を創造していく
未就学児に向けてのイベントがあれば
キッズスペースの充実
夏休みに子どもたちに解説などがあれば
あらゆる方が参加できる
バックヤードが探検できる
いろんな体験ができる
おしゃべりできるところ
展示の感想を話し合えるような空間を
オリジナルグッズがある
お土産店がある
カフェで過ごせる
のんびりできるところ
ハンズオン
ワークショップを開催して参加する

一緒に企画できる
一緒に調査・研究できる
地域の方が活躍（発表）できる場
自分で調べられる　図書館のようなスペース
音楽も楽しめる
交流が広がる　つながる
出張博物館
人材育成が行われている
調査・研究の結果が分かる
もっと明石の文化の深堀を
東播地域のハブに
明石産業　ヘリコプター　バイクと関連した展示を
松本零士関連の展示を
明石の作家の紹介など
有名アートに触れることができる
完全無料

資料４

ぶんぱくの明石市における位置づけ

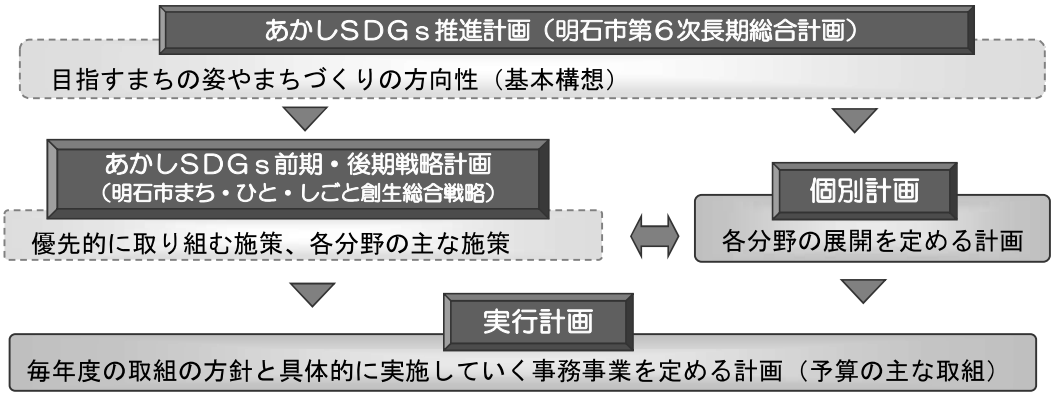
	名称	種別	ｽﾗｲﾄﾞNo
1	あかしSDGｓ推進計画（明石市第6次長期総合計画） あかしSDGｓ前期戦略計画	明石市長期総合計画	2～9
2	明石文化芸術創生条例 第２期明石文化芸術創生基本計画	文化芸術行政に関する条例とそれに基づく計画	10～19
3	明石市文化財保存活用地域計画	文化財行政に関する個別計画	20～23
4	第２次明石市生涯学習ビジョン	生涯学習の「道しるべ」	24

・あかしSDGｓ推進計画と個別計画より、ぶんぱくの事業内容に関連する内容が含まれているものについて整理しました
・明確にぶんぱくを実施主体と位置付けているものは少ないがぶんぱくが実施している、ぶんぱくの役割と考えられる内容を**太字**で示しています

1

あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）

2030年のあるべき姿　2022～2030



2

あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）

2030年のあるべき姿　2022～2030

SDGs未来安心都市・明石

～いつまでも　すべての人に　やさしいまちを　みんなで～

いつまでも：まちの好循環により、明るい未来につながるサスティナブル（持続可能）なまちづくり

すべての人に：年齢・性別・国籍・障害などに関わらず、すべての人が安心を感じられるインクルーシブなまちづくり

やさしいまち：経済・社会・環境の統合的向上を目指し、ハード・ソフト面から安心して暮らし続けられるやさしいまちづくり

みんなで：市・市民・事業者などが一丸となってみんなで目標の達成に向けて取り組む

3

あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）

2030年のあるべき姿　2022～2030　ぶんぱく関連ワード

２計画策定の背景

(1)明石の地勢とこれまでのあゆみ　②明石のあゆみ

明石は、**万葉の歌**などにも詠まれ、**源氏物語**の舞台としても描かれています。江戸時代には、**明石城**が築かれ、**城下町**として発展しました。

(2)明石の地域特性　②海をはじめとした恵まれた自然環境

漁業　明石鯛　マダコ　イカナゴ　魚のまち　ため池

３基本構想

(3)まちづくりの方向性

明石の歴史、文化などの地域資源は、暮らしやすいまちとしての大きな魅力

4

あかしSDGs前期戦略計画　2022～2025

5

あかしSDGs前期戦略計画　2022～2025

５つの柱

１豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める

２笑顔あふれる共生社会をつくる

３こどもの育ちをまちのみんなで支える

４安心・安全を支える生活基盤を強化する

５まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

6

あかしSDGs前期戦略計画　2022～2025

５まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

　まちの宝物を生かし、更に新たな魅力を生み出して、定住・交流人口を増やすとともに、多様な働き方を実現できる雇用環境づくりや地域経済の循環を推進し、まちの元気につなげます。そのため、地域産業の振興のほか、文化の薫るまちの推進や、まちの魅力を生かした賑わいの創出に取り組みます。

展開の方向１　地域産業の振興

展開の方向２　豊かな心を育む文化・芸術の推進

展開の方向３　まちの魅力を生かした賑わいの創出

7

あかしSDGs前期戦略計画　2022～2025

展開の方向２　豊かな心を育む文化・芸術の推進

・本のまち明石の推進（まちなか図書館、読書バリアフリーの推進、新たな図書館の検討など）

・歴史のまち明石の推進（文化博物館や文化財収蔵庫を拠点とした歴史・文化の発信など）

・文化・芸術の推進（ストリート・ピアノの設置、兵庫芸術文化センター管弦楽団の公演、あかし若手アートチャレンジ、あかしDEミュージカル、ARTSHIP明石等の様々なジャンルの活動や交流ができる環境の整備など）

・個性豊かで美しい都市景観の形成

8

あかしSDGs前期戦略計画　2022～2025

展開の方向３　まちの魅力を生かした賑わいの創出

歴史・文化が薫る明石公園などの地域資源を活かし、
明石の魅力を国内外に積極的に発信することで、
明石の認知度や関心を高め、交流人口及び関係人口の増加、地域活力の向上につなげる。

関連する個別計画
・明石文化芸術創生基本計画
・明石市文化財保存活用地域計画
・明石市生涯学習ビジョン

9

明石文化芸術創生条例　2009年３月制定

目的
〇文化芸術に関する基本的な理念及び方向性を示す
〇**明石の特性や人びとの個性を尊重した文化芸術の振興**を図る
〇心豊かでうるおいとやすらぎのある市民生活と個性豊かで活力のある地域社会の実現
〇**地域を支える人づくり**に寄与

10

明石文化芸術創生条例 2009年３月制定

基本理念

○過去から培われてきた地域の文化や芸術を市民の財産として継承し、発展させる

○魅力ある文化芸術が創造されるよう配慮する

○多様な文化芸術及び価値観を理解し、尊重する

○文化芸術を担う人材の育成を図る

○次代を担う子供たちの心や感性、創造性やコミュニケーション能力を豊かに育む

11

明石文化芸術創生条例 2009年３月制定

基本施策

○**地域に根差した伝統的な文化芸術の継承及び発展**並びに**新しい文化芸術の創造に必要な施策**を講ずるよう努める

○**文化芸術の場及び機会の拡充**その他の必要な施策を講ずるよう努める

○**文化芸術活動を担う人材の育成を図る**ために必要な施策を講ずるよう努める

○**次代を担う子どもたちの豊かな人間性を育む**ため、**文化芸術の場及び機会の充実**その他必要な施策を講ずるよう努める

12

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030

文化とアートでみんながつながるまち　あかし

2030年の目標➡１年間に文化芸術活動をした人の割合
33%（美術鑑賞を含む）

５つの展開方針

(1)市民による文化芸術活動のさらなる充実
(2)文化芸術活動充実のための環境整備
(3)文化交流の促進と連携体制の強化
(4)地域特有の文化資源の継承と発展
(5)次世代の育成

13

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030

文化とアートでみんながつながるまち　あかし

(1)市民による文化芸術活動のさらなる充実

①**多様な文化芸術の鑑賞機会の創出**
②**身近な場所で文化芸術に出会い、触れる機会を創出**
③**市民が自ら取り組める文化芸術事業**を推進
④**障害者の文化芸術活動**を促進〔アートシップあかし〕
⑤**在住外国人が日本文化に親しみ、理解を深める取組**の推進

14

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030
文化とアートでみんながつながるまち　あかし

(2)文化芸術活動充実のための環境整備
①**文化芸術活動の成果を発表する機会**を創出
②**文化施設の柔軟な運営**を推進〔小中学生無料、年間パスポート〕
③**様々な施設を文化芸術活動の場**として有効活用
④**市民の自主性と創造性を尊重した文化芸術活動**を支援
⑤文化芸術に関する情報を収集・集約し、効果的に発信

15

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030
文化とアートでみんながつながるまち　あかし

(3)文化交流の促進と連携体制の強化
①異分野・異世代間の交流や、**市民とｱｰﾃｨｽﾄとの交流**を推進
②姉妹都市、友好都市等との国際文化交流を推進
③中間支援組織の機能を強化
④文化観光を始めとする他分野との連携を強化

16

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030
文化とアートでみんながつながるまち　あかし

(4)地域特有の文化資源の継承と発展

①**地域の伝統文化を守り、継承し、活用する取組**を推進

②**地域の文化資源に親しみ、わがまちへの愛着を深める取組**を推進

③文化芸**術に関する地域の人材**を活用

④特色ある文化芸術事業を支援

17

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030
文化とアートでみんながつながるまち　あかし

(5)次世代の育成

①**子どもたちに向けた文化芸術の鑑賞機会**を創出

〔中学生以下無料〕

②**子どもたちが参加・体験できる文化芸術事業**を推進

③**次世代の文化芸術活動**を支援

18

第2期明石文化芸術創生基本計画 2023～2030

文化とアートでみんながつながるまち　あかし

推進体制

(1)市　文化芸術に係る政策全般の企画・立案
　　財団への財政支援、財団・関係機関との連携強化

(2)明石文化国際創生財団　中間支援組織+実施主体

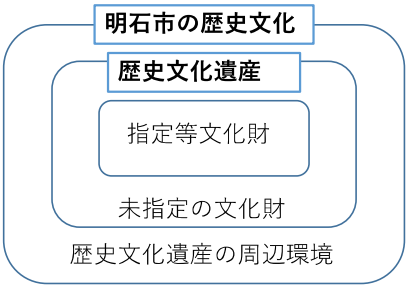
(3)市民会館等の指定管理者　文化芸術活動の拠点
　　文化芸術を鑑賞・発表する**場の提供**

19

明石市文化財保存活用地域計画 2023～2030

明石市の多様で豊かな歴史文化遺産を
　市民、行政、専門家がみんなで協働して、
　　守り、育て、次世代に引き継ぐため、

「歴史文化遺産を通じて、
ひと、まち、営みが輝く　持続可能な地域づくり」
を目標とした計画



「歴史文化遺産」
　歴史的・文化的・自然的遺産のこと

20

明石市文化財保存活用地域計画 2023～2030

歴史文化遺産を通じて、ひと、まち、営みが輝く
持続可能な地域づくり

基本方針

１ **歴史文化遺産を持続的に「知る」取り組み**を進める

２ **学校教育・生涯教育の場で人づくり**を進める

３ **歴史文化遺産を確実に次世代に継承**する

４ **歴史文化を活かした愛着のもてるまちづくり**を進める

-1 **歴史文化遺産観光に関わる多様な取り組みを重点的に展開**する

-2**市民等と協働して歴史文化遺産が核となるまちづくり**を進める

５ **みんなで歴史文化のまちづくり**を進める

21

明石市文化財保存活用地域計画 2023～2030

歴史文化遺産を通じて、ひと、まち、営みが輝く
持続可能な地域づくり

基本方針を実現するための取り組み

１ 歴史文化遺産を持続的に「知る」取り組みを進める

○各種調査（市史編さん、生業、生活文化、史料など）

２ 学校教育・生涯教育の場で人づくりを進める

○生涯学習機会の充実（講演会、出前講座など）

３ 歴史文化遺産を確実に次世代に継承する

○データベースの作成・更新・共有

22

明石市文化財保存活用地域計画 2023～2030

歴史文化遺産を通じて、ひと、まち、営みが輝く
持続可能な地域づくり

基本方針を実現するための取り組み

４ 歴史文化を活かした愛着のもてるまちづくりを進める

-1 歴史文化遺産観光に関わる多様な取り組みを重点的に展開する

〇歴史文化遺産観光のコンテンツ拡充

-2市民等と協働して歴史文化遺産が核となるまちづくりを進める

〇明石市立文化博物館の拠点機能の拡充

５ みんなで歴史文化のまちづくりを進める

〇近隣自治体との連携

23

第2次明石市生涯学習ビジョン 2022～2032

・生涯学習関係施設で充実させたい機能

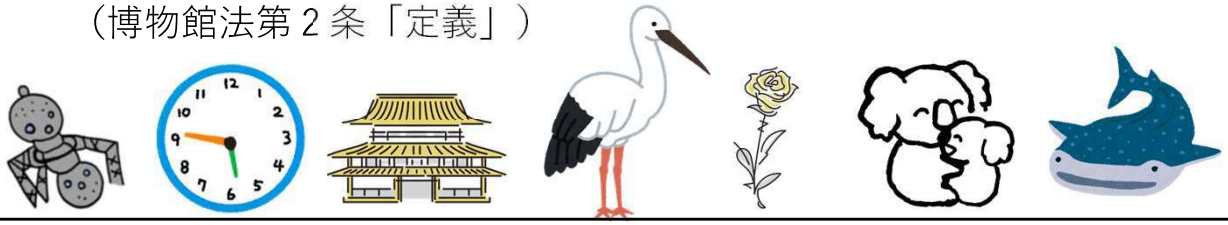
充実させたい機能	重点を置くポイント	ぶんぱくの役割
学びのプロセスをつくる	学びの入り口（学びに触れる）支援	●
	学びの展開（次の学びに出会う）への支援	●
市全域での学びの支援・コーディネート	学習提供者・支援者を結ぶ、サポートする	●
	学びにつながる・学びを引き出す相談支援	
地域での学びの支援・交流促進	地域での学びのハブ	
地域課題へのアプローチ（課題解決に向けた生涯学習の関わり）	地域を知るきっかけ、ニーズの把握	
	地域内の学びの資源がつながる、交流する	
シチズンシップ/シビックプライドの醸成	シチズンシップ/シビックプライドを育む機会の提供	●

※生涯学習ビジョンには、３つの機能がぶんぱくの役割とされていますが、博物館活動としては７つ全てがあてはまると考えます。

24

博物館とは？（博物館法）

歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する**資料を収集**し、
保管（育成を含む）し、
展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、
その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する**調査研究**をすることを目的とする機関（公民館及び図書館を除く）
（博物館法第２条「定義」）



博物館とは？（国際博物館会議）

博物館は、
有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、
社会のための非営利の常設機関である。
博物館は一般に公開され、**誰もが利用でき**、**包摂的**であって、
多様性と**持続可能性**を育む。
倫理的かつ専門性をもって**コミュニケーション**を図り、
コミュニティの参加とともに博物館は活動し、
教育、愉しみ、省察と知識共有のための
様々な経験を提供する。
（博物館の定義　国際博物館会議）

資料６

明石市立文化博物館

明石市文化・スポーツ室歴史文化財担当

課長
係長

文化財	市史編さん	学芸
埋文 文化財 企画展 考古 歴史 委託先	文書 企画展	企画展 歴史 民俗 美術 指定管理者 管理監督

魚住文化財収蔵庫

指定管理者

館長

副館長	事務局長
学芸	総務
特別展 自主事業	庶務 受付 清掃 設備

25

資料７－１

ぶんぱく学芸担当者

（市）

市学芸員１ 正規職員	学芸員経験 14 年（当館２年目） 専門：日本史（近世・近代史（海上交通、土木、鉱山））　社会教育主事 当市以外での地方自治体での勤務経験 20 年。内、文化財行政、歴史民俗資料館運営、歴史講座企画等を 12 年担当。 当市では埋蔵文化財を除く、文化財保護行政全般を担当。
市学芸員２ 任期付職員 （週５日）	学芸員経験約７年（当館４年目） 専門：日本近現代史・民俗学　中高国語教員免許保持 他館での展示、文書の解体・目録作成・紀要執筆などの経験有 当館では歴史系企画展、歴史資料調査を担当。市史編さん業務を兼任し、新市史の近代部会の担当や近代編の執筆、地域部会の紀要執筆などを行う。
市学芸員２ 任期付職員 （週４日）	学芸員経験 13 年（当館 10 年目） 専門：民俗学 民俗系博物館での学芸業務、指定文化財整理作業への従事経験有。 当館では、小学３年生の学習指導要領に沿った内容の「くらしのうつりかわり展」、地域住民からの生活資料受け入れ調査、漁業・農業などの地域産業関係の調査を担当
市学芸員３ 任期付職員 （週４日）	学芸員経験６年（当館６年目） 専門：日本美術（浮世絵、郷土作家）　中高美術教員免許保持 学習塾にて小中理系の講師として２年間の経験有 当館では郷土作家シリーズ、美術資料の調査を担当
市学芸員４ 任期付職員 （週４日）	学芸員経験５年（当館５年目） 専門：日本史（近世）　教員免許（小、中社、高社）保持 公立小学校で勤務の後、学芸員の職に就く。 当館では歴史関係の展示、歴史資料の調査を担当。市史編さん業務を兼任し、新市史の近世部会を担当し、執筆などを行う。
市行政職１ 正規職員	指定管理業務担当８年目。学芸業務担当３年目。学芸員資格保持 専門：西洋美術史、都市政策、公共政策 指定管理業務、学芸業務の取りまとめ・後方支援、博物館行政全般を担当

（指定管理者）

★は任期のない職員

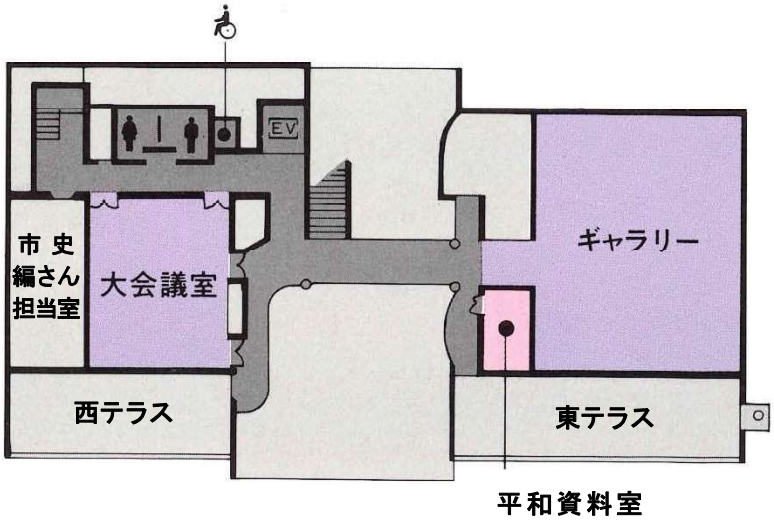
指定管理者 学芸員１ ★	学芸員経験３年（当館３年目） 民間企業にて 26 年間、接客・営業・企画広報・販売促進・マネジメント職を経験・培ったノウハウを生かし、教育普及事業及び地域・企業を巻き込み、地域全体で盛り上げる「集客力のある」特別展を実施。明石市内外の民間企業に様々なネットワークを有する。民間企業で培った実利的知識と経験を生かし、博物館の特性を生かした SNS マーケティングを担当
指定管理者 学芸員２	学芸員経験３年（当館１年目） 専門：古代中国史、西洋美術史 他館（博物館類似施設、指定管理施設）にて、貸館担当、展覧会の企画運営及び展示撤収作業、教育普及事業、SNS 運用などの経験有。他館で得た幅広い経験と専門性の広さを生かして他職員のサポートに回るほか、現在、当館 SNS の運用を担当している。
指定管理者 学芸員３	学芸員経験１年（当館１年目） 専門：日本古代史、現代美術史、地域創生　司書資格保持 美術館にて司書、芸術大学にてアシスタントとして勤務。個人活動として、現代アーティストの展覧会を企画実施。１年間の渡豪経験にて、メルボルンの芸術文化に触れる。アーティストや文化芸術、様々なネットワークを有する。芸術を支える業務を通じて、地域やアーティストとのボーダレスな関りをサポートする。
館長	施設管理運営経験５年、学芸員経験 14 年（当館４年目） 国立・県立・市町村立の美術館・博物館での勤務経験を持ち、博物館の運営・事業実施等について豊富な経験を有する。大学で博物館学を講じており、国内外の博物館の動向を把握すると共に、日々研鑽を積んでいる。また、文化庁、日本博物館協会、全日本博物館学会等において、委員を歴任しており、さまざまなネットワークを有する。

	担当展覧会等	その他調査・研究等
市１	明石の布団太鼓Ⅱ　－彫刻と刺繍に見る匠の技－（2024.12～2025.1） 常設展示：船遺産（2025.1～）	・文化財関係補助金業務 ・文化財保護審議会業務 ・文化財保存活用地域計画業務 ・ミュージアム体験プログラム（2024）「オリジナル兜で変身！」 ・ミュージアム体験プログラム（2025）「オリジナル兜で変身しよう！」
市２	柿本人麿と明石―歌・信仰・文化―（2023.5～7） 明石藩の世界Ⅻ－藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学－（2024.9～10） ロビー展示：上地結衣（車いすテニス）（2024.11） 源氏物語と明石（2024.12）	・市史編さん業務（近代部会開催・市史執筆・校正など） ・市史地域部会紀要執筆（明石の文学や伝統 2025） ・学芸員実習主担当（2024、2025） ・文化講座（兵事文書 2023） ・出前講座（柿本人麿・源氏物語・明石の戦争・明石の合併など複数回） ・研究（防空壕・兵事文書・傷痍軍人など。戦時体験の聞き取り調査） ・近代資料整理 ・ミュージアム体験プログラム（2025）「戦争中の明石はどんなようすだったのかな？しらべて新聞をつくってみよう」
市３	くらしのうつりかわり展（2024.1～3） くらしのうつりかわり展（2025.1～3） 魚住収蔵庫展示：昭和の道具―知恵と工夫―（2023.11～12） 常設・ロビー展示：端午の節句（2023.3）、 子供の頃の宝物（2023.4）、カッパコレクション（2023.8）、 五智網漁（2023.11）、南達夫（パラ卓球）（2024.11） 市民図書館展示：生船の欄間（2024.6）	・文化講座（2023）「明石の船大工と漁船について」、「しめ縄づくり」コーディネーター ・ミュージアム体験プログラム（2024）「ポーチをつくろう～伸子針のヒミツ」 ・ミュージアム体験プログラム（2025）「伸子針を体験！布でタペストリーをつくってみよう」 ・MUSEUM PLAYER!（2025） ・解説ボランティア
市４	郷土作家シリーズ　村上翔雲展（2025.1） 郷土作家シリーズ　生誕 140 年　横山蜃楼展（2025.5～7） ロビー展示：直近の寄贈作品の紹介（2023.6～）	・郷土作家作品の調査、リスト整理 ・収蔵庫整理 ・図録増刷 ・トライやるウィーク ・ミュージアム体験プログラム（2025）「たのしくつくろう！はじめての掛け軸づくり」
市５	明石藩の世界Ⅺ－明石藩の懐事情－（2023.９～10） 東二見横河家の功績－大坂の陣から近代建築まで－（2024.6） 明石藩の世界 13　明石で華ひらく知と美の世界(2025.9～11) ロビー展示：直近の購入資料紹介（2024）、 野村彌生の刀（2024.2～）、 明石の月にまつわる作品（2024.8～9）	・市史原稿執筆（近世編） ・出前講座（明石の名字と家紋、横河家の功績、大阪府高齢者大学校講師） ・インターンシップ ・ミュージアム体験プログラム（2024）「カモーン！拓本ファイル」 ・ミュージアム体験プログラム（2025）「家紋ってなあに？軒丸瓦の家紋で、拓本に挑戦！」 ・MUSEUM PLAYER!（2025） ・解説ボランティア
行１		・MUSEUM PLAYER!（2024、2025） ・ミュージアム体験プログラム（2024）「カモーン！拓本ファイル」 ・指定管理制度運営 ・博物館行政全般
指１	「エルマーのぼうけん展」（2024.3～2024.5） 「そうぞうのかけら－砂で紡ぐたなかしんの物語－」（2025.7～9）	・クリスマスマーケット（2024） ・ミュージアム体験プログラム(2024) ・ミュージアム体験プログラム（2025）「戦争中の明石はどんな様子だったのかな？しらべて新聞をつくってみよう」、「伸子針を体験！布でタペストリーを作ってみよう！」 ・トライやるウィーク（2025） ・広報業務（プレスリリース・各種情報媒体照会対応、館内刊行物制作）
指２	あかし若手アートチャレンジ（2025）	・トライやるウィーク（2025） ・広報業務（広報あかし対応、SNS 管理運営・投稿、HP 更新、館内刊行物制作）
指３		・ミュージアム体験プログラム（2025）担当・進行 ・トライやるウィーク（2025） ・広報業務（SNS 投稿、HP 更新） ・MUSEUM PLAYER!（2025）
館長	安野光雅美術館コレクション「安野先生のふしぎな学校」（学芸員転出に伴う）（2023.7～2023.9） 「いわさきちひろ×plaplax　あれ　これ　いのち」（学芸員転出に伴う）（2025.4～5）	・文化講座（2023）「みんなでみると２倍楽しい博物館見学」 ・MUSEUM PLAYER!（2024、2025）
その他		・アウトリーチ　・ボランティア事業 ・無料開館日イベント　・ぶんぱくパスポート ※貸館

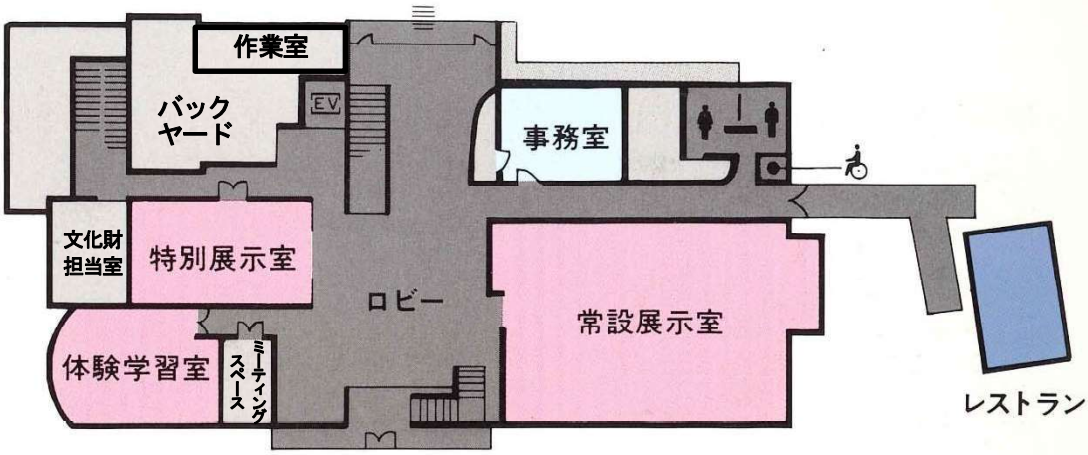
資料８

館内配置図

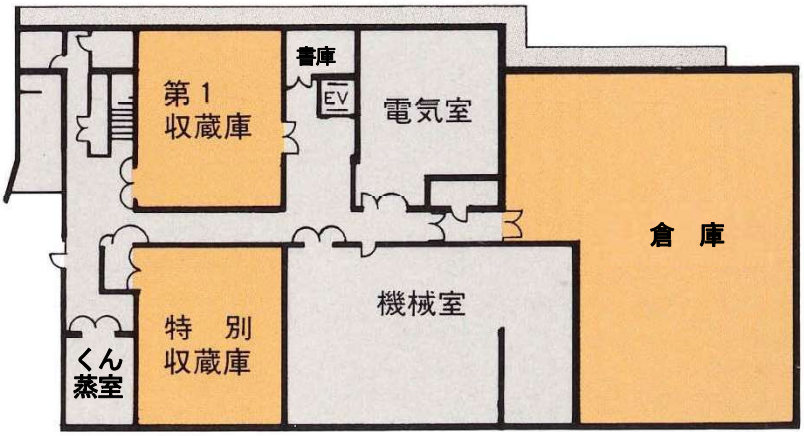
2F



1F



B1



資料９-１

展覧会開催状況（観覧者数）

（単位：日・人）

	展覧会名	期　間		日数	大人	高齢者	大高	中小	未就学	計
令和３年度	(特)浦上コレクション　北斎漫画	4/17	5/23	22	2,833	1,368	61	118	46	4,426
	(企)明石ゆかりの名品展	6/9	7/4	23	508	415	11	42	38	1,014
	(特)美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アート	7/17	8/29	44	9,581	951	765	1,594	1,745	14,636
	(企)明石藩の世界Ⅸ-幕末維新と人々のくらし-	9/11	10/17	33	1,134	793	35	196	86	2,244
	(企)発掘された明石の歴史展～明石の古道と駅・宿～	10/30	12/5	32	919	826	52	249	121	2,167
	(企)明石の布団太鼓	12/16	1/16	24	857	402	34	135	140	1,568
	(企)くらしのうつりかわり展　海辺の生活	1/30	3/21	44	1,100	488	39	993	155	2,775
	年間観覧者			305	17,624	5,698	1,075	3,602	2,454	30,453
令和４年度	(特)岩合光昭写真展　PANTANAL	4/2	5/22	51	8,116	3,508	168	746	529	13,067
	(企)明石の木造船	6/2	6/26	22	815	693	17	180	67	1,772
	(特)あんびるやすこ作品展	7/16	8/28	44	4,870	879	499	2,019	843	9,110
	(企)明石藩の世界Ⅹ　漁場の利用　水・耕地の利用	9/10	10/16	34	830	516	39	312	79	1,776
	(企)発掘された明石の歴史展　明石の墓と祭祀	10/29	12/4	32	1,938	554	42	382	279	3,195
	(企)郷土作家シリーズ　二つの展示	12/17	1/15	22	534	390	47	136	196	1,303
	(企)くらしのうつりかわり展	1/29	3/21	44	1,953	1,062	79	4,969	1,915	9,978
	年間観覧者			321	19,880	8,183	970	9,071	4,118	42,222
令和５年度	(特)写真家が捉えた　昭和のこども	4/1	5/14	44	1,946	2,061	58	296	149	4,510
	(企)柿本人麿と明石－歌・信仰・文化－	5/24	7/2	35	1,336	1,487	95	306	96	3,320
	(特)安野光雅美術館コレクション　安野先生のふしぎな学校	7/22	8/27	36	6,234	2,467	164	1,404	518	10,787
	(企)明石藩の世界Ⅺ－明石藩の懐事情－	9/9	10/15	34	1,220	849	48	378	84	2,579
	(企)発掘された明石の歴史展－明石の古窯とやきもの・瓦－	10/28	12/3	32	1,133	630	47	457	156	2,423
	(企)古陶と絵画の名品－平井コレクションを中心に－	12/16	1/14	22	626	525	20	94	56	1,321
	(企)くらしのうつりかわり展－小学校生活編－	1/27	3/17	45	2,841	1,048	76	5,505	1,711	11,181
	年間観覧者			322	20,210	10,164	790	9,623	3,702	44,489
令和６年度	(特)エルマーのぼうけん展	3/23	5/19	58	14,479	2,262	548	3,780	3,094	24,163
	(企)東二見横河家の功績－大坂の陣から近代建築まで－	6/1	6/30	26	871	971	36	128	48	2,054
	(特)迷路遊びからお城イラストへ－香川元太郎の作品世界	7/13	9/1	51	3,201	885	59	2,132	882	7,159
	(企)明石藩の世界Ⅻ－藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学－	9/14	10/14	29	2,291	1,024	64	521	234	4,134
	(企)発掘された明石の歴史展－明石の寺院跡－	10/26	12/1	34	1,426	623	39	346	160	2,594
	(企)明石の布団太鼓Ⅱ－彫刻と刺繍に見る匠の技－	12/14	1/13	22	1,380	577	60	176	118	2,311
	(企)村上翔雲展－現代の書道の姿－	1/4	1/26	22	1,086	553	36	123	88	1,886
	(企)くらしのうつりかわり展-多聞新八がえがいた昔の明石-	1/25	3/16	44	2,118	1,075	79	5,023	1,794	10,089
	年度観覧者			324	27,717	8,240	1,026	11,920	6,189	55,092

※(特)特別展　(企)企画展

参考データ（展覧会アンケート結果より）

特別展では子育て世代、若年層の割合が高いが、企画展では70代以上の割合が高い。このことより、特別展観覧者を企画展観覧につなげられていないことがわかる。

また、特別展ははじめて来館した人の割合が比較的高い。一方、企画展は複数回（４回以上）来館した人の割合が高い。自由記述からは毎年同じ展覧会を楽しみにしているとの意見が目につく。

(特)エルマーのぼうけん展　観覧者24,163人　回答数530人（回答率2.1%）
はじめて来館した　287人（54%）
30代　110人（21%）　40代（18%）　50代(18%)

(特)迷路遊びからお城イラストへ－香川元太郎の作品世界　観覧者7,159人　回答数1,505人（回答率21%）
はじめて来館した　533人（35.4%）　2～4回526人(35%)
10代以下　777人（51.6%）

(企)東二見横河家の功績－大坂の陣から近代建築まで－　観覧者2,054人　回答数92人（回答率4.5%）
４回以上　49人（53.3%）
70代以上　34人（40.0%）

(企)明石藩の世界Ⅻ－藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学－　観覧者4,143人　回答数85人（回答率2%）
４回以上　47人（55.3%）
50代　23人（27%）

(企)発掘された明石の歴史展－明石の寺院跡－　観覧者2,594人　回答数332人（回答率12.8%）
はじめて来館した　132人（40%）　４回以上　128人（39%）
70代以上　103人(31%)

(企)明石の布団太鼓Ⅱ－彫刻と刺繍に見る匠の技－　観覧者2,311人　回答数62人（回答率2.7%）
はじめて来館した　25人（40%）　４回以上　128人（39%）
60代　14人(23%)

(企)村上翔雲展－現代の書道の姿－　観覧者1,886人　回答数86人（回答率4.5%）
４回以上　39人（45.3%）　はじめて来館した　30人（34.9%）
70代以上　35人(40.7%)

(企)くらしのうつりかわり展-多聞新八がえがいた昔の明石-　観覧者10,089人　回答数82人（回答率0.8%）※観覧者数に学校観覧を含む
４回以上　42人（51.2%）
70代以上　26人(31.7%)

資料９－２

ぶんぱくで開催した展覧会　1991（H3）～2024（R6）　34 年間

★直営 1991（H3）～2006（H18）

☆指定管理①2007（H19）～2009（H21）②2010（H22）～2012（H24）③2013（H25）~2015(H27)

★業務分割④2016（H28）～2024（R6）

【企画展】１階特別展示室で開催する明石の歴史・文化に関する展覧会

テーマ	回数	開催年
発掘された明石の歴史展	37	1992（H4）～2024（R6）　複数回年あり
くらしのうつりかわり展	34	1992（H4）～2024（R6）
郷土作家展	33	1992（H4）～2024（R6）　複数回年・開催無年あり
明石藩の世界展	12	2013（H25）～2024（R6）
収蔵品展	4	2011（H23）、2012（H24）、2015（H27）、2020（R2）
歴史	3	2006（H18）、2011（H23）、2023（R5）
	123	

【特別展】2020（R2）年度まで３回（春・夏・冬）、2021（R3）年度より２回（春・夏）

テーマ	回数	開催年
日本画（浮世絵含む）	38	1992（H4）～2021（R3）複数回開催年、開催無年あり
洋画	21	特別展 19+企画展２　1994（H6）～2018（H30）
工芸（陶芸、手芸等）	16	特別展８＋企画展８　1996（H8）～2023（R5）
イラスト・絵本	14	1997（H9）～2023（R5）
民俗	9	特別展１＋企画展８　1991（H3）～2024（R6）
写真	7	特別展３＋企画展４　1994（H6）～2023（R5）
友好都市・世界の美術展	6	特別展２＋企画展４　1991（H3）～2001（H13）
産業・おもちゃ	5	特別展１＋企画展４　1995（H7）～2008（H20）
その他	17	絵画・版画・平面作品　４回　2005（H17）～2011（H23） ｷｬﾗｸﾀｰﾃﾞｻﾞｲﾝ・映像　３回　2018（H30）2020（R2） 自然・科学　３回（特１企２）　2005（H17）～2019（R1） 現代アート　２回　2013（H25）2021（R3） その他　５回（企１、ｷﾞｬﾗﾘｰでの無料開催４）　1992（H4）～2015（H27）
	133	

博物館収蔵資料登録件数

資料10

登録件数　30,943件
点数　64,608点　　（2025年１月31日現在）

部門	項目	件数	点数
歴史	書誌	3,800	4,619
12,957件	文書	4,525	5,565
16,348点	絵図	308	378
	写真	2,023	2,080
	新聞	230	259
	印刷物	1,883	3,227
	その他	188	220
考古	瓦など	870	870
美術・工芸	絵画	2,221	3,689
4,247件	書	330	447
7,738点	彫刻	8	12
	工芸	1,608	3,494
	建築	16	22
	その他	64	74
民芸	衣・食・住	2,049	3,119
9,314件	生産・生業	59	73
25,043点	社会生活	4,551	16,665
	その他	2,655	5,186
自然史	化石など	3,555	14,609
合計		30,943	64,608

資料総数（推定）　　約120,000点

資料 11

ぶんぱくアウトリーチ事業

2024 年度		
事業名／依頼者／実施場所／実施内容	実施日	参加人数
第 13 回はりま矯正展／播磨社会復帰促進センター／同左／オリジナルトートバッグ作り	9/28(土)、29(日)	41 人
第 32 回大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）／兵庫県立考古博物館／同左	11/2(土)	雨天中止
アートパフォーマンスインあかし／(公財)明石文化国際創生財団／あかし市民広場／明石城トートバッグ作り	11/23(土・祝)	25 人
令和６年ひょうごミュージアムフェア／兵庫県博物館協会／兵庫県立歴史博物館／明石城トートバッグ作り	2/15(土)	50 人
【春季特別展関連事業】		
人形劇「エルマーとりゅう」(人形劇団プーク)	2/11(日)	411 人
あかし市民図書館コラボイベント	2/17(土) 4/28(日)	12 人 11 人
西部市民図書館コラボイベント	3/10(日)	12 人
こどもの森神戸コラボイベント	4/6(土)	12 人
中崎小学校おはなし隊ブックママ 135°コラボイベント	2/8(木) 3/7(木)	70 人 70 人
大観小学校ヨミィコラボイベント	3/5(火)	60 人
ピオレ明石展覧会告知イベント（ワークショップ２回）	3/2(土)	61 人
パピオスあかし・ピオレ明石・アスピア明石合同事業りゅう探しラリー	3/23(土)～4/7(日) 4/27(土)～5/6(月・祝)	1,800 人 1,000 人
西宮阪急・絵のつなぎてふわはねさん合同イベント	4/20(土)	20 人
【夏季特別展関連事業】		
あかし市民図書館連携企画	6/29(土)	29 人
アスピア明石合同事業	8/10(土)～11(日・祝)	130 人
15 件		3,814 人

2023 年度		
事業名／依頼者／実施場所／実施内容	実施日	参加人数
そうめん流しとワイワイ夏祭り／いなみ野水辺の里公園／同左／ととバッグ作り	8/19(土)	16 人
第 12 回はりま矯正展／播磨社会復帰促進センター／同左／たこつぼ風小物入れづくり	9/16(土)、17(日)	52 人
第 31 回大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）／兵庫県立考古博物館／同左／ととバッグ作り	11/4(土)	89 人
明石の海たんけんたい！／明石市立少年自然の家／同左／たこつぼ風小物入れづくり	11/25(土)	5 人
ウィズフェス 2023／ウィズ明石／アスピア明石北館８階／オリジナルポストカード作り	12/９(土)	11 人
令和５年ひょうごミュージアムフェア／兵庫県博物館協会／兵庫県立兵庫津ミュージアム／ととバッグ作り	1/21(日)	99 人
６件		272 人

資料 12

市内・市外の企業等とのコラボ・連携

◆ミュージアムグッズ
・ナガサワ文具センター
　Kobe INK 物語「Akashi Museum Gold－明石ミュージアムゴールド」
・富士の山菓舗
　ぶんぱく煎餅
・かつじパンダ（株式会社ロータリービジネス）
　明石ノート

◆特別展
・オリジナル商品の開発
・まるせいゆ（併設レストラン）展覧会に応じたオリジナルメニュー
　富士の山菓舗：せんべい
　くるみや：クッキー
　ダンマルシェ：りゅうのボリスパン
　PiesaQ：りゅうのパイ/ライオンのクッキー
　GF Kitchen：グルテンフリー/苺の米粉ロール
　TTT：りゅうのクッキー
・展示物の提供等
　ピーシーデザイン設計事務所、武楽衆（戦国の城製作所）、
　株式会社 Rhizome care、株式会社アーサ
・ラリーへの協力
　兵庫県立図書館、あかし市民図書館、公益財団法人兵庫県園芸・公園協会、TTT、ジュンク堂書店明石店、喜久屋書店明石駅ビル店、パピオスあかし、アスピア明石、ピオレ明石
・企業協賛
　明石むかい動物病院、明石家旅館別館、おっちゃんの店、かつじパンダ、株式会社KTクリーン、株式会社 NACS、株式会社林喜商店、株式会社 Rhizome care、GF Kitchen

◆無料開館日
・材料提供
　株式会社 BEBE
・キッチンカー

Kackey's coffee、スピンケア 24 つむぎニ見町、北海道バタークレープ、
スープデリエイノ、Devin、

・イベント出展（出展料無料のみ）

福祉事業所（さくら工房、ふれあい作業所、みらいおもいけ園、らいず、リーフあかし、すたじおぽっち・御影倶楽部）

NPO 法人（ぐるり明石、明石おやこ劇場、おーえんくらぶ）

◆ぶんぱくサポーター・

・ぶんぱくパスポート（年間観覧券）提携店

提携店の紹介・パスポート提示によるお値引き・サービス等

・ぶんぱくパートナーズ（2025 年度～）

企業による協賛・広報物への企業名掲載

◆神戸・明石の総合カルチャー誌『THE TANPENS』とのコラボ

・ぶんぱくキャラクターの公募、公募キャラクターによる当館常設展の案内解説記事の掲載

資料13

ぶんぱくギャラリー使用状況（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ギャラリー	春季特別展3/23～5/19設営・撤収		貸館5/28～6/2 トライやる6/3～7 貸館6/11～16	美術協会展6/25～7/12	夏季特別展7/13～9/1設営・撤収	財団9/12～25	自主事業9/24～10/6 貸館10/22～27 財団事業10/13	市美展11/8～12/1 財団10/29～11/5	共催12/3～10 自主事業12/11～22	企画展1/4～26+設営撤収	貸館2/6 書初展1/31～2/2 造形展2/12～3/4	メリデ゛ィアン3/14～27 春季特別展3/28～

- 指定管理者
- 市学芸担当
- 市文化国際創生財団
- 市教育委員会
- 一般貸出

一般貸出できる期間　合計74日間

6/8～23	14
9/3～11	8
10/8～12	5
10/14～27	13
11/6～7	13
12/2	1
12/24～28	5
2/4～11	7
3/5～13	8
	74

43

資料 14

ミュージアムプレイヤーについて

◆ミュージアムプレイヤー養成講座（2024年度）

①ミュージアムプレイヤーとは
明石市立文化博物館でともに博物館活動を担っていただく方やこれまでミュージアムに足を運んだことがない方と博物館がつながっていくための楽しい活動をつくりだしてくださる人

②養成講座の内容
「ガイダンス －博物館施設案内と博物館職員の紹介－」
「博物館資料と展示の背景 －展示をする・される・みる－」
「博物館の資料調査 －資料を調べ記録する－」
「博物館の情報伝達 －さまざまな方に伝える－」
「博物館の学びとコミュニケーション －思考のための問い作り－」
「修了式・次年度にむけて」
（①～②「MUSEUM PLAYER!養成講座 2024」チラシより）

③参加者
全6回 延べ143人/28 人申込み/30人定員

◆ミュージアムプレイヤーの活動（2025年度～）
①活動内容：
1. MUSEUM SUPPORT 活動
博物館からの呼びかけに応じて、イベントや調査、展示などのサポートにあたる（不定期）。
2. MUSEUM PLAYER 活動
MUSEUMPLAYER 活動指針に従い、明石市立文化博物館で実現したいことを企画・実施する

②特　典：
当館にてボランティア保険加入
ぶんぱくパスポートプレミアム進呈資料 siryou

※交通費や謝金などの支払いはありません

③任　期：2025 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

④活動指針：

1. 私たちは明石の文化に関することを取り上げて活動します。
2. 私たちは博物館が集め・調べ・伝える機能がを活かされる活動をします。
3. 私たちは利用する人たちが明石の文化に親しみがもてる活動をします。
4. 私たちは明石市立文化博物館があらゆる人にひらかれた場となるための活動をします。
5. 私たちは博物館活動で出会う人と共に未来をつくる活動をします。

（①～④「2025MUSEUMPLAYER!活動の案内」より）

登録者：25名

2025 年度の活動

・3 つのグループに分かれて活動
（民俗資料・古文書グループ、外とつながるグループ、中から発信するグループ）
・今年度の館の無料開館日（11 月、12 月）に活動を予定

その他：2025 年度船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」プログラム 2「海の博物館活動サポート」A コース博物館活動に係る支援（2,370,000 円）を受け、一部事業を実施。

資料 15

ミュージアム体験プログラム

2024 年度		
講座名	開講日	参加人数
ポーチをつくろう～伸子針のヒミツ～	9/22(日)	20 人
オリジナル兜で変身！	10/19(土)	6 人
土器土器ブローチづくり	11/16(土)	8 人
カモーン！拓本ファイル	12/1(日)	3 人

2025 年度		
講座名	開講日	参加人数
戦争中の明石はどんなようすだったのかな？しらべて新聞をつくってみよう	6/14(土)	
伸子針を体験！布でタペストリーをつくってみよう	9/20(土)	
たのしくつくろう！はじめての掛け軸づくり	10/18(土)	
はにわの形って面白い！ねんどではにわをつくってみよう	11/15(土)	
家紋ってなあに？軒丸瓦の家紋で、拓本に挑戦！	1/17(土)	
オリジナル兜で変身しよう！	2/14(土)	